

日本人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
問37	あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。	近所に外国人が住んでいることを知っているが、付き合いを持ったことがない。という設問を足すのはどうでしょうか。	問33-10 「近所に住んでいることは知っているが、付き合いを持ったことはない」を追加します。
問37	あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。	問37-10 「外国に住んだことがある」不要ではないか。	削除します。 外国に住んだことがある経験の有無で、多文化共生についての意識に影響はあると推測できますが、行政の施策との結びつきが弱いと見えます。
問37	あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。	あなたは「日本または外国で」、外国人と以下のような付き合いがありますか、とする。 問37-10で「外国に住んだことがある」が出てくるので、日本国内外両方を想定した質問だと思います。	「外国に住んだことがある」の選択肢を削除するため、設問は元のままとします。
問38	付き合いがない理由は何だと思いますか。	問38-2 「積極的に付き合いおうとは思わない」の方が良い。	意見のとおり修正します。
問39	あなたは、近所や職場で会えば挨拶をする日本人はいますか。	挨拶をする 外国人 はいますか。ではないか。	誤りです。 「あなたは、近所で会えば挨拶をする 外国人 はいますか」に修正します。
問43	多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。	「～すべきだ」といいきる言い方が気になりますが、「～した方がいい」はどうですか。	問39「～する方が良い」に修正します。
問46	地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、日本人は何をすべきだと思いますか。	問46-2「日本語や日本文化の多様性を日本人自らが知る努力をする」は、わかりづらい表現なのでこの選択肢は削除してはどうでしょうか。	選択肢を削除します。

日本人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
問46	地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、日本人は何をすべきと思いますか。	問46-3「日本語や日本文化を教える」の方が良い。	設問を「日本人は何をすべきか」から「あなた自身は」何をすべきかに変更するため、選択肢を削除します。
問46	地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、日本人は何をすべきと思いますか。	問46-6「外国語」とありますが、ミスプリントでしょうか？	誤りです。 問42-4「外国の言葉や文化を学ぶ」に修正します。
問46	地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、日本人は何をすべきと思いますか。	問46-6 外国語の言葉や文化を学ぶに「認める」「受け入れる」の言葉を追加してはどうですか？	選択肢を追加します。 問42-5「外国の言葉や文化の継承に理解を持つ」
問47	日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	問47-3 「労働相談や生活相談に多言語の通訳をつける」とした方が良い。	意見のとおり修正します。
問47	日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	問47-4 「医療通訳を充実させる」とした方が良い。	意見のとおり修正します。
問47	日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	問47-7 選択肢3と重複するので省略してはいかがですか。	選択肢を削除します。
問47	日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	日本の将来を考えて、外国につながる子どもたちのキャリア教育を充実させる。を足してほしいです。	選択肢を追加します。 問43-9「外国人のこども・若者へのキャリア教育を充実させる」
—		外国人との付き合いについて、仕事などで関わる時は言語がなかなか通じない時でもマニュアル等で深めますが、プライベートでは関わりが少なくなり関係性も薄くなっているのが現実です。	問39「あなたは、近所や職場で会えば挨拶をする外国人はいますか」から「職場で」を削除し、地域での付き合いへの意識を確認する設問に変更します。

日本人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
—		以前参加させていただいた協議会の中で、「外人さん」という言葉が使われていたことが気になりました。きっと差別用語だと把握していないのだろうと感じました。しかし、好意的に協議会に参加をしてくださる委員でも使わない方がいい言葉だということを知らないということは、多くの方が知らないはずだと思ったので、「外人、外人さんという言葉は差別用語だと知っていますか。」という設問も入れていただきたいです。	日本人対象調査で、他の差別も含めて聴く方法、啓発を別に行う方法、外国人対象調査で差別の体験について聴く方法のどれがいいのか検討中です。委員のみなさまのご意見をお願いします。
—		アンケート項目が多く、回答が難しい印象がある。	男女共同参画・多文化共生合わせて4問減らします。また、選択肢の文を読みやすくするなど工夫いたします。
—		質問内容が多いが、すべて大切な質問事項である。回答の選択も具体的であり、良いと思う。回答者が真剣に考え、回答してくれれば、良い結果が得られると思う。回答者がいかに真剣に回答してくれるか。	
—		内容的には問題ないと思います。しかし、問いの数が多く、途中で嫌になってしまう方もいるのかなと思います。（頑張って答えたところで、特に自分にとって利益はないので余計に）	
—		選択式が多い方が簡単に答えられるのでよい。	
問13, 15, 16, 18		必要か検討事項 問13-8 問15-4.10 問16-6 問18-7	男女共同参画担当にて検討します。
問17		①生活費を稼ぐのときは、「サービス・便利な家電などを利用する」を斜線にする。生活費を稼ぐのはサービスや家電では無理なので。	男女共同参画担当にて検討します。

日本人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
問30		防災に関する内容は重要課題なので、別にアンケート調査で実施したらどうか。	男女共同参画担当にて検討します。
問 22, 23, 30		職場や地域のことなので、個人への質問からは外した方がいいのではないか。	男女共同参画担当にて検討します。

外国人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
問6	あなたの、在留資格を教えてください。	選択肢が30あるのは多すぎるので、湖西市にいる外国人の主要な在留資格5つ（例えば、永住、定住、技能実習等）を選択肢として出し、残りは「その他（ ）」に書いてもらう方法でいかがでしょうか。回答者にとって、調査票は短く、文字が少ない方が良いです。	湖西市で人数が多い方から5つまでの在留資格とその他に修正します。
問11	普段、どのようなメディアから情報を得ているか教えてください。	YouTubeを加えてはいかがでしょうか。テレビに代わる媒体として普及しています。	問12-6 ラジオからYouTubeに変更します。
問11	普段、どのようなメディアから情報を得ているか教えてください。	問11のメディアについての設問の選択肢に、市の広報紙と、コミュニティが発行する雑誌を付け加えるのはいかがでしょうか。 メディアではありませんが、外国の方が情報を必要とする時に、メディアに限らず、どこでどのように情報を入手しているのかを知りたいです。	この設問は、湖西市が外国人市民に広報をするときに、どのメディアが効果的かを知るために質問をします。そのため選択肢は、湖西市が広報として利用できる可能性のあるメディアに、限定し、元のままとします。
問12-11	あなたの職業は、どれですか。 11. 仕事を探している	必要か検討事項 問12-11	前回調査で「無職」を選ばず、その他に「仕事を探している」と記入した方が多くいました。回答を翻訳する都合上、回答が予想される内容は、あらかじめ選択肢に追加したいと思います。
問13-9	あなたの職場の種類は、どれですか。 9. 無職	必要か検討事項 問13-9	選択肢を削除します。
問15	あなたが、今の仕事のことで、困っていることは何ですか。	問15に、キャリアアップをするチャンスがないを付け加えてほしいです。	意見のとおり修正します。
問16	あなたが、仕事を選ぶときに、大事にすることは何ですか。	給料が高いこと、休みが多いことを追加してはいかがでしょうか。	問17-3に「給料が高いこと」を追加します。 問17-4に「休みが多いこと」を追加します。

外国人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
問16	あなたが、仕事を選ぶときに、大事にすることは何ですか。	問16については、給料がいいという理由が1番多いと思いますが、こちらは意図的に選択肢の中にはないのでしょうか。	問17-3に「給料が高いこと」を追加します。
問17-1	日本語はどのくらいできますか。 1-1. テレビ、ラジオが不自由なくわかる。	テレビの前に「日本の」を追加、ラジオはほとんど聞かないので削除してもいいのでは。	問18-1～4共通 日本語教育の参照枠のレベル（A1, A2, B1, B2, C）と言語活動（聞くこと、読むこと、やり取り、書くこと）に合わせ、設問を作り直しました。
問17-2-4	日本語はどのくらいできますか。 2-4. 名前や生まれた国の話ができる。	問17-2 の4 名前や簡単なあいさつができる。の方が答えやすいと感じます。	問18-1～4共通 日本語教育の参照枠のレベル（A1, A2, B1, B2, C）と言語活動（聞くこと、読むこと、やり取り、書くこと）に合わせ、設問を作り直しました。
問17-4-4	日本語はどのくらいできますか。 4-4. 自分の名前をカタカナで書ける	問17-4 の4 自分の名前をかなで書ける(カタカナを特定する必要はないと思います。)	問18-1～4共通 日本語教育の参照枠のレベル（A1, A2, B1, B2, C）と言語活動（聞くこと、読むこと、やり取り、書くこと）に合わせ、設問を作り直しました。
問18	あなたは、日本語をどのように勉強していますか（しましたか）。	問18について、日本語講座の選択肢にもし、講座名がわかれば、外国人がアクセスしやすい講座がどれかわかるための参考資料になるのでは、と思いました。 この設問に、職場でやり取りの中で覚えたという選択肢があってもいいと思います。日本語が話せる人の多くが、そのように覚えたというので。 そして、職場で日本語学習の場があったという選択肢も加えるのはどうでしょうか。	・どの講座にアクセスが多いかは、市内の教室については参加人数で把握できるため、追加しないこととします。 ・問19-7「仕事や生活の中で」を追加します。 ・「日本語教室」の種類を確認すると選択肢が多くなるため、元のまま「日本語教室で」にまとめますが、問22-6に「会社で学べる日本語教室」を追加して、希望については確認するようにします。
問18	あなたは、日本語をどのように勉強していますか（しましたか）。	問18-5 オンラインに対して「通学するタイプの講座」という意味で「公民館等の」を入れました。	湖西市でなじみがあるのは、湖西国際交流協会の日本語教室になりますが、それ以外の教室の方が選ばない可能性もあるため、問19-4 「日本語教室で」に変更します。

外国人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
問18	あなたは、日本語をどのように勉強していますか（しましたか）。	問18-7 テレビ、マンガなどのメディアにYouTubeを入れる。	YouTubeの内容は、映画やドラマの場合もあれば、学習教材の場合もあり、オンラインの日本語講座との区別が難しいため、追加を見送ります。
問20	どうして日本語を勉強したいですか。	問20-5 「高いレベルの日本語能力を身に付けたい」に修正してはいかがでしょうか。	意見のとおり修正します。
問20	どうして日本語を勉強したいですか。	問20 日本語を勉強したい理由 日本語を使って日本の学校を卒業したい。または、日本の学校を卒業するのにある程度の日本語力が必要だから	問21-3「日本の学校に進学したいから」を追加します。
問20-5	どうして日本語を勉強したいですか。 5. 不自由なく使える高いレベルの日本語を身につけたい	問20 の5 通訳、翻訳ができるにしたら、どうでしょうか？その方が分かりやすく、答えやすいと思います。	意見のとおり修正します。
問21	あなたは、どのようなところで、どのように日本語を勉強したいですか。	問21の選択肢に、仕事や学校に影響のない夜間に勉強をしたいを追加	意見のとおり追加します。
問21	あなたは、どのようなところで、どのように日本語を勉強したいですか。	答えにくい質問です。文字数が多く、1. ～6. で問われていることの「違い」を見分けるのに時間と労力がかかります。質問の仕方を変えてはいかがでしょうか？	学びたい内容と、教室の開催方法の質問に限定します。 問22 あなたはどのような日本語教室に行きたいですか。
問22	あなたは、日本人とどのような付き合いがありますか。	「日本にいる」日本人に限定する聴き方の方が良い。	意見のとおり修正します。

外国人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
問22	あなたは、日本人とどのような付き合いがありますか。	「家族に日本人がいる」を選択肢に追加してはどうですか。	問23-4 「自分または親せきが、日本人と結婚して日本に住んでいる（いた）」をやめ、「家族や親せきに日本人がいる（いた）」に修正します。
問23	付き合いがないのは、どうしてですか。	問23-2 「付き合う雰囲気ではないと感じる」を「積極的に付き合おうとは思わない」に変更してはどうですか。	意見のとおり修正します。
問26-3, 4	あなたが、困ったときに相談をする人や場所はどこですか。 3. 母国・地域にいる家族、親戚 4. 同じ国・地域の人たちの団体	問26-3、問26-4「地域」は台湾や香港出身者を想定して「地域」と書いているかと思いますが、日本の地域社会（local community）と混同されるので、単純に「母国」で良いと思います。	意見のとおり修正します。
問31	あなたは、地震・津波・大雨などの災害対策で行っていることはありますか。	必要か検討事項	生まれ育った環境によって、自然災害の基本情報や防災への備えはちがうと言われています。外国人市民の防災意識を把握し、今後の事業に活かしていくことが必要と考えるため、この設問は元のままとします。
問33	あなたが、なくて困っている、充実してほしいと思っている行政サービスを書いてください。	回答者は湖西市職員ではないので、行政サービスの全ての種類を知っているわけではありません。何があるかがわからなければ、なにが無いかわからず、無くて困っていることを答えられないです。ここでは「必要だと思う行政サービス」にしてはいかがで	選択式の質問に変更します。
問34	あなたには、日本で一緒に住んでいる18歳未満の子どもがいますか。	・子どもの対象年齢について・18歳未満とあるが、義務教育期間（中学生まで）ととらえるなら・問34「いる」「いない」のあと、「いる」場合に幼・小・中・（高）を選択できるようにする。	「いる」場合に、問35「あなたの子どもは、湖西市の小中学校や幼稚園・保育園・子ども園に行っていたり、行ったことがあったりしますか。」を追加します。
問35	子どものことで、困っていることは何ですか。	問35について、外国人の保護者の中には、子どもが日本語を流暢に話していると、学校の勉強も困っていないと思う人が多いです。そのため、学校の勉強についていけないのかどうか、判断できないこともあります。	日本語についての困りごとと、学力についての困りごとを分けて聴くように変更します。 問35-3に「子どもの学力のこと」を追加します。

外国人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
問35	こどものことで、困っていることは何ですか。	問35こどものことで困っていることは何ですか。 1 日本語での学校の授業 2 学校や幼稚園・保育園・こども園の先生とのコミュニケーション 3 学校や幼稚園・保育園・こども園からの連絡の内容 4 その他 今ある、5～8は親子間のコミュニケーションとして1つにする。もしくは、親子間のコミュニケーションとして別の問いをつくる。	問35でこどもの困りごと、問36で保護者の困りごとを聴くように変更します。
問36	あなたが、教育に、望むことは何ですか。	問36→設問カット かえて、 問36あなたが、こどもの教育のことで一番知りたいのは何ですか。 1 学校での生活の仕方 2 学校での勉強内容 3 進学や就職 4 友達との関係 5 教育にかかるお金 6 学校以外で相談できるところ 7 その他（ ）	学校教育、生活両方の場面での困りごとを聞きたいので、次のように修正します。 問37. あなたが、こどものことで、他に困っていることは何ですか。 問38. あなたが、こどもの教育や行政サービスのことで、知りたいことは何ですか。
—		外国人アンケートには、日本語版は配布しなくても良いのではないかと？	日本語の方が理解しやすい外国籍住民もいるため、ふりがな付の日本語版を配付します。
—		外国人にとってかなり難しいアンケートではないか。	外国人市民の意見を広く聴く機会を確保するため、多言語の調査票やオンライン回答を準備し、なるべく回答しやすい環境を整えます。
—		回答しやすい質問事項には答えてもらえそうだが、分かりにくい（理解できない）質問が無回答で提出される可能性があるのでは。中学校での保護者アンケートでも未提出やほとんど回答されない用紙の提出が多い。	外国人市民の意見を広く聴く機会を確保するため、多言語の調査票やオンライン回答を準備し、なるべく回答しやすい環境を整えます。
—		職場では必然に関わりが出来ますが、地域での関わりは何かきっかけがないとなかなか交流出来ないと思います。	日本人対象調査、事業所対象調査も含めて、外国人市民が地域で関わりを持てるようにするための情報収集を行います。

外国人対象調査票(案)への意見と回答

設問		意見内容	回答
—		湖西市に住んでみてどう思うのか? 「いいところ」「もっと～してほしいところ」など外国人からみた湖西市についての意見を聴くのはどうか?	設問数を抑えるため追加はしませんが、問10. 問11-1, 2に近い設問になると考えています。
—		問いや答えすべてにふりがなをつけた方がよい。問5. 6. 10. 11. 13. 14. 21	修正します。 当初の調査票案に不備があり申し訳ありませんでした。
—		郵送だけでなく、オンライン回答フォームやwebの媒体を使うことは必須と思われます。 理由を書く欄があると、敬遠されがちかもしれません。なるべくシンプルに、すぐできるように。	オンライン回答を可能にします。
—		理由を書く欄があると、敬遠されがちかもしれません。なるべくシンプルに、すぐできるように。	理由を書く欄は、問11と問26に限定します。自由記述だった問33、38を選択式に変更します。

事業所調査票(案)への意見と回答

設問		質疑内容	回答
問25	回答日時点で、貴社には外国人が働いていますか。	問25 回答6の時、「問1-2へ」は「問26へ」、回答7の時、「問1-3へ」は「問27へ」	修正します。
問31	外国人従業員（技能実習生を除く）に求める日本語能力は何ですか。	問31 話す、書くなどの中でも、どの程度の日本語力を求めているか知りたいです。例えば、会話であれば、日常会話程度なのか、挨拶程度でもいいのかなど。	厚生労働省作成「就労場面における日本語能力」参照表を参考に、問24のとおり修正します。 また、「（技能実習生を除く）」を削除します。
問38	技能実習生の受け入れについて、監理団体に依頼をしたことがありますか。	何を依頼するのか？目的語を補う方が良いと思います。「人材の紹介」でしょうか。	育成就労制度の創設が決定し、監理団体の許可基準が定められ地域社会との共生についても優良適合の要件となるなど、法整備が進むことから、設問を削除します。
—		市内の事業所で外国人を多く採用している事業所の担当者のお話などを聞く機会などがあるといいと思います。	任意で事業所情報を記入いただいた事業所から、どのような取り組みを実施されているか具体的にお聞きできればと考えています。
—		人手不足で今後ますます外国人（特定技能など）の雇用が増え湖西市の外国人の比率が高まってくと思われま。共生するためには地元自治会への加入促進、外国人の子供の日本語教育を含め就学が100%できるような施策が求められています。市の対応、進捗が遅いことが心配です。加速度をつけた対応が求められます。	従業員への生活サポートについての設問を追加します。 問29～問31、問35
—		どの設問に足せるのか、それ以前に事業所にこれを聞いていいのかわかりませんが、可能であれば、外国人の社員がいると答えた事業所に、外国人も日本人も同じ立場であれば、同じ金額の給料が支払われ、同じ福利厚生が与えられているのかを知りたいです。キャリアアップするチャンスがあるのかも知りたいです。	給料や福利厚生、キャリアアップ機会の平等について、直接聴くよりは、平均給与、雇用年数などを、雇用条件別に、細かに聴く方がいいと考えますが、設問数が増え複雑になることから、設問の追加は行いません。なお、厚生労働省が令和5年に行った外国人雇用実態調査（事業所調査票）で、外国人と日本人の給与や労働時間、手当を比較する設問がありますので、今後公表される結果を参考にしたいと思います。
—		事業者にとってこのアンケートにより、どのようなメリットがあるのか？	アンケート結果は、市内事業所の傾向や記入いただいた事例の把握に利用させていただきます。間接的にはなりますが、今後の制度検討や優良事例の共有により、事業所にも役立てていただけるものと考えております。

事業所調査票(案)への意見と回答

設問		質疑内容	回答
—		湖西市はどのような目的でどのようにしたいのか、この調査票ではわからない。外国人を雇用している企業をリストアップして直接聞く方が良いのでは？	外国人を雇用しているかどうかの資料がないため、今回の調査で事業所を把握し、任意で事業所情報を記入いただいた事業所から、どのような取組みを実施されているか具体的にお聞きできればと考えています。
—		経営者または人事・労務担当の方が回答するという ことで、どんな回答結果が得られるか楽しみである。	

課題	対応
外国人市民意識調査 →名称を外国人から外国にルーツをもつ方など、変えた方がよい。	・調査では、短い言葉で広く一般に使われている「外国人」を使用します。 ・プランでは、第3次プランで「外国人市民」という呼び方を定義し使っていますが、定着していないため、第4次プランでどのような呼び方とするかご意見をお願いしたいと思います。
外国語と日本語両方のアンケートを送ることになっているが、日本語版については、「やさしい日本語」を使った方がよいと思う。（充実・行政などわかりずらいか）	「やさしい」日本語となることと、意味が通じる日本語を保つことのバランスを取りながら編集していきます。
どの方々にもウェブ回答可能は必須。（回答率が上がると思う）	ウェブ回答ができるようにします。
男女共同参画と多文化共生を同じ調査票で出すのは無理があるのでは（別物と考えるがどうですか？）	同時期に、同じ部署からの調査が重なることで対象者が膨大にならないよう、男女共同参画と多文化共生の共同調査としています。 しかし、それぞれの設問数が制限されたり、回答者の負担が増えたりといった課題もあります。次期調査実施時の検討事項とさせていただきます。

課題	対応
外国人市民の地域社会への参画推進	日本人市民と外国人市民の交流、相互理解、地域社会への参画
湖西国際交流協会などのイベントで外国人と集う機会がありますが、外国人が居住しているところの地元自治会、町内会の対応が及び腰になっています。なんとかもっと一緒に参加してお互いの理解を深められる機会を市が指導して進めることを考えていただきたいです。	
日本人も外国人も何かきっかけがあれば交流出来ると思います。そのきっかけ作りをどの様にやっていくのが課題だと思います。	
いろんな国の人が気軽に交流できる場が少ないです。理解し合えない限り、共生を目指す事が難しいです。 理解し合うきっかけをたくさん作るべきだと感じます。	
自分から進んで求めない限り、なかなか外国籍の方との接点がないため、自然と関わりがもてる機会を増やしていくことが課題であり、多文化共生につながっていくのではないかと思います。	
中学校教員の中でも外国人に対して郷に入っては郷に従えの意識が強い。外国人の悪い面を指摘する言動が多い。日本人も外国へ行けば外国人であり、どう扱われるか日本にいる外国人以上に経験をしなければ「多文化共生」について意識できないのではと考える。	

課題	対応
逆に日本人にスポットを当て、日本人が外国語、外国文化に触れる機会を提供してみてもいい。 自分は外国籍の生徒と触れ合うにあたり、ポルトガル語が理解でき、ブラジルの文化をもっと知ることができれば生徒理解につながると常日頃感じております。	日本人市民と外国人市民の交流、相互理解、地域社会への参画
外国人が増えている湖西市で日本人も外国人も多様性を認め合える社会、地域になっていくといい。	
一人一人の意識、関心、そして協力の元で成り立つものなので、そう簡単に現状は変わらないと思います。ただ、湖西市は、協議会で意見を言うと小さなことでも聞いてくださったり、すぐに変えられることはやってくださるので、湖西を中心に、静岡西部から多文化共生がだんだんと当たり前になっていけたら嬉しいです。協議会を開く必要がなくなるぐらいに。 そのために、私にできることがあればさせていただきたいので、今後とも、よろしくお願いします。	

課題	対応
日本語の学習支援（就学前、児童生徒の初期支援延長など）現状、3週間の日本語支援を3ヶ月又は6ヶ月に延長など	こどもの日本語学習支援
日本語を理解できない児童、生徒への支援	
行政（自治会も含めて）からの情報提供・広報活動のための環境整備	行政、自治会からの情報提供、広報活動
市役所での住民登録手続きの際、日本のルールや慣習を教えていただけると住民トラブルが減るのではないのでしょうか？ゴミ出しもそうですが、例えば外国人の方々は大量で集まって食事をする習慣があり、陽気で時間がのんびりしている感じがします。住宅街で個人の庭で夜遅くまで盛り上がっている光景を目にしたことがあります。規則ではないですが21時くらいまでには終わった方がいいですよというような具体的アドバイスをしたらお互いイヤな思いをしなくてすむのではと思います	生活オリエンテーション